

2008年11月27日

株式会社日本政策投資銀行

大分都市圏の「地域づくり健康診断」を実施

株式会社日本政策投資銀行大分事務所では、このたび大分都市圏の「地域づくり健康診断」を本店地域振興部と共同で実施し、その結果をとりまとめました。

「地域づくり健康診断」は、公表データの独自分析や現地取材等により、地域の特性や可能性、課題を診断し、結果を公表することで、地域の皆様によります地域づくりに役立てていただくとするもので、2005年より開始し、2008年11月までに全国22の地域において実施してまいりました。

今回の「地域づくり健康診断」の結果としまして、大分都市圏の“現状”は、これまで順調に企業立地が進んできたこと等を背景に、人口動態、産業構造、雇用等の指標から見ると地方都市としては「健康体都市」といえる一方、中心市街地には課題があり、また、将来を考えると、新たな雇用の受け皿の育成、高齢化を見据えたインフラ整備やまちづくりのあり方の検討、が大きな課題であるものと思われまます。

本レポートでは、こうした地域課題への対処策として、長期的なまちづくりビジョン策定の必要性を主張しますとともに、大分都市圏の地域づくりに関して7つの提言を致しました。

DBJとしましては、本レポートが大分都市圏の地域づくりの一助になることを期待するとともに、今後も地域に役立つ情報発信に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

詳しい内容につきましてはのお問い合わせ、またはレポートご希望の方は、下記までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

大分事務所

電話 097 - 535 - 1411